

## 令和6年度 小・中学生の描く

# 「人にやさしい福祉のまちづくりポスター」作品展

## 審査総評

今年の応募作品数は小学生の部で147作品そして中学生の部が47作品あり、昨年より増加したことを大変嬉しく思います。

小、中学生の福祉に寄せる関心の高さを伺うことができます。色鉛筆やクレヨン、水彩絵の具などの画材を駆使した多彩な作品が集まりました。熱心に取り組んだ作品を目にし、とても楽しく審査することが出来ました。どの作品からも、他者に対するやさしい思いやりや暖かな気持ちで接する様子が、とてもよく伝わってきました。皆様の「人にやさしい福祉のまちづくり」について創意工夫した作品を拝見し、審査するにあたり優劣を付けることが難しく大変悩みました。

小学生の部では観る人に笑顔をもたらしてくれる心温まる優しさに満ちあふれた作品に目を惹かれました。そのような中で札幌市長賞に選ばれたのは昨年に続き縄乃々香さんの「やさしさ分け合う 札幌のまち」です。画面全体が淡い色調で描かれ、優しさに関する六つのエピソードが花束の中に丹念に描かれています。また時計台やテレビ塔そしてクランク像なども描かれていて一目見て札幌のまちだということも伝わってきます。作者の優しい心遣いとそれを表現する力量を感じる作品です。

次に中学生の部ですが、観察力や描写力そして表現力の素晴らしい作品が多数応募されました。その中で札幌市長賞に選ばれたのは北川 遼花さんの「幸せの花、今、咲かせませんか。」です。画面中央にスズランを持った少女を配し、その周りにライラックなど北海道ゆかりの花々が美しく描かれています。人物の表現も素晴らしく、表情豊かに描かれています。ポスターを見る人たちの心を優しく豊かにしてくれる作品だと思います。

以上小学生の部と中学生の部の札幌市長賞を受賞した2作品について述べさせていただきました。誰もが安心して暮らせる街を作るためにはインフラの整備はもとよりそこで困難な生活を余儀なくされている人たちに寄せるみんなの支援が欠かせません。皆さんから寄せられたポスター作品を目にすることで、どの様にしたらみんなが幸せに暮らすことができるかを考える良い契機となることでしょうか。改めて「人にやさしい福祉のまちづくり」が社会に浸透することを切に願います。

最後に各賞を受賞されました皆様に心からお祝い申し上げますと共に、今回は残念ながら僅差で受賞を逃しました皆様には次回の作品に期待し、応募頂きました皆様に心から拍手をお送りいたします。



審査委員 國松 明日香

彫刻家・元札幌高等専門学校教授